

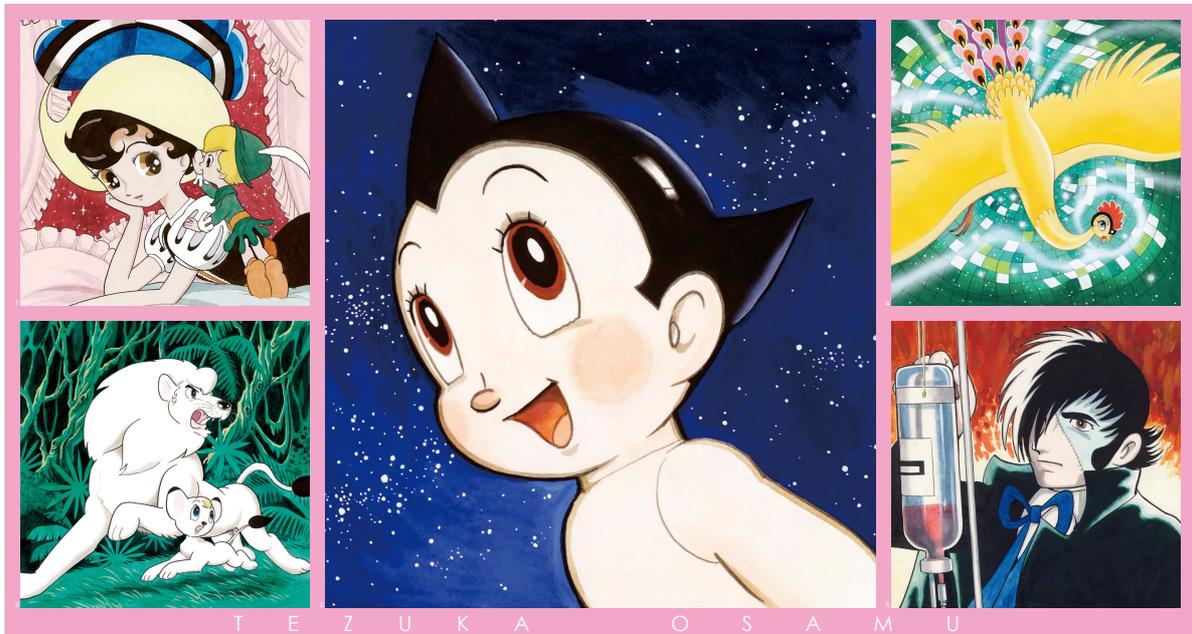
プレスリリース

手塚治虫展

東京富士美術館では、2025年7月12日(土)より9月15日(月祝)まで、「手塚治虫展」を開催します。

「マンガの神様」と称される手塚治虫(1928-1989)。没後30年以上を経てもなお、彼が描いたさまざまな魅力的な物語やキャラクターは、日本はもとより世界中で愛されています。そこには作家が生涯問い続けた人間や生命の根源に関わる深いテーマやメッセージが込められ、多様な事態に直面する現代においても普遍的な輝きを放っています。

本展では手塚自身の生涯や、『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『リボンの騎士』『火の鳥』『ブッタ』『ブラック・ジャック』をはじめとする、手塚が手がけた膨大なマンガやアニメーションの中から厳選した約200点の原稿・映像・資料、さらには愛用品の品々なども併せて紹介し、作家が未来に託したメッセージを読み解きます。



手塚治虫展

2025 7.12 » 9.15
土 月・祝

開館時間 10:00-17:00 (16:30受付終了)
休館日 月曜日 ※7/21(月-祝)、8/11(月-祝)は開館
7/22(火)、8/12(水)は休館
入館料 大人1,500(1,200)円 大高生 900(800)円
中小生 500(400)円 未就学児 無料

※新展常設展示室もご覧いただけます ※()内は各種割引料金(20名以上の団体、シルバー(65歳以上)、当館公式SNSフォロー—登録者ほか)
※土曜日は中小生無料 ※障がい児券、付添者1名は遺棄料金の半額(証明書もご提示ください)
主催 東京富士美術館 協賛 八王子市、八王子市教育委員会 企画制作 手塚プロダクション 制作協力 東映

1. リボンの騎士「なやま」原稿
2. ジャングル大帝「サンデーコミックス」第1巻 表紙絵
3. 鉄腕アトム「手塚治虫美術館展 鉄腕アトム」第1巻 表紙絵
4. 火の鳥「月刊ファンタジー」10月号 ヤマト・宇留編(原紙絵)
5. 「ブラック・ジャック」「週刊少年チャンピオン ブラック・ジャック特集」増刊号 表紙絵

FAM TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館



〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1 TEL:042-691-4511 交通案内は296

◆開催概要

展覧会名： 手塚治虫展

会場： 東京富士美術館 本館 企画展示室
〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1
TEL 042-691-4511

会期： 2025(令和7)年7月12日(土)～9月15日(月祝)

休館日： 毎週月曜日
※7/21(月祝)、8/11(月祝)は開館 7/22(火)、8/12(火)は休館

開館時間： 10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金： 大人 1,500(1,200)円、大高生 900(800)円、
中小生 500(400)円、未就学児無料
※新館常設展示室もご覧になれます
※()内は各種割引料金 [20名以上の団体、65歳以上
の方、当館公式SNSフォロワー・登録者ほか]
※土曜日は中小生無料
※障がい児者、付添者1名は通常料金の半額 [証明書を
ご提示ください]

主催： 東京富士美術館

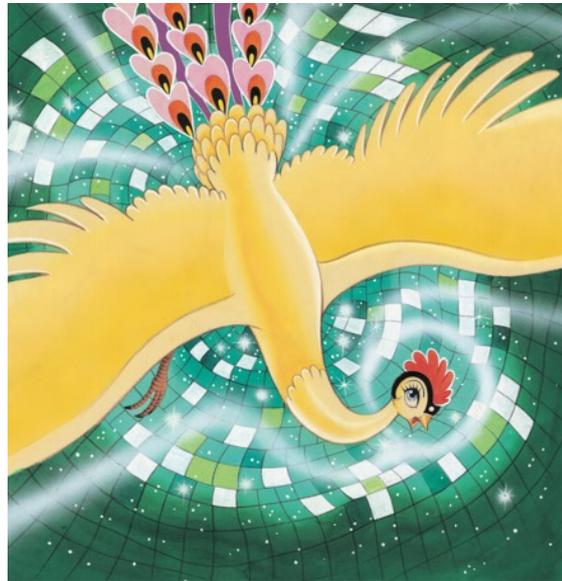
後援： 八王子市、八王子市教育委員会

企画製作： 手塚プロダクション

製作協力： 東映

問い合わせ先：企画広報課 TEL 042-691-4511 FAX 042-691-4623
E-mail: toiawase@fujibi.or.jp

◆主な出品写真



【図版左】「鉄腕アトム」『手塚治虫漫画全集 鉄腕アトム』第1巻 表紙絵

【図版右】「火の鳥」『月刊マンガ少年』「火の鳥 ヤマト・宇宙編」表紙絵



【図版左】「ブラック・ジャック」『週刊少年チャンピオン ブラック・ジャック特集』
増刊号 表紙絵

【図版右】「どろろ」『冒険王』扉絵



【図版左】「海のトリトン」『サンデー・コミックス 海のトリトン』第2巻 表紙絵
 【図版中】「第11回コミック・コンベンション」ポスター用直筆カラー原稿
 【図版右】「ふしぎなメルモ」『よいこ』扉絵



【図版左】「リボンの騎士」『なかよし』扉絵
 【図版右】「ジャングル大帝」『サンデー・コミックス ジャングル大帝』第1巻 表紙絵

◆出品点数：約 200 点

◆手塚治虫(てづか おさむ)1928-1989 本名：手塚 治

日本のマンガ家。大阪府豊中市生まれ。大阪大学附属医学専門部卒業。医学博士。1946年新聞連載の4コママンガ『マアチャンの日記帳』でデビュー。1947年『新寶島』が大ヒットする。以来、日本のストーリーマンガの設立に尽くす。

また、アニメーションの世界でも、1963年に国産初となる30分テレビアニメーションシリーズ『鉄腕アトム』の放送を実現するなど、大きな業績を残す。代表作に『鉄腕アトム』『リボンの騎士』『火の鳥』『ブラック・ジャック』『三つ目がとおる』などがある。



© 手塚プロダクション

◆宝塚市立手塚治虫記念館のご紹介



手塚治虫は、5歳から約二十年間を兵庫県宝塚で過ごしました。

その宝塚に、手塚が生涯唱え続けた「自然への愛と生命の尊さ」をテーマに手塚治虫記念館は開館しました。

詳しくは、手塚治虫記念館 HP へ。

◆関連イベント

① 特別講演会

手塚治虫のアニメ制作に携わった清水義裕さんが、手塚マンガ・アニメについて語ります。

日時：8月3日(日) 14:00～ (約1時間)

講師：清水義裕(手塚プロダクション顧問)

定員：150名(先着順)

※当日、アトムもやってくるよ！

(11:00/13:00/15:00 に登場。一緒に写真撮影も OK)

② 夏休み特別企画コンサート

音楽で巡る ～手塚治虫の世界～

出演：石川寛子(ヴァイオリン)、東亮太(サクソフォン)、
長谷川ふさこ(ピアノ・編曲)

日時：8月10日(日) 14:00～ (約1時間)

定員：150名 (先着順)

③ 手塚治虫作品 特別上映会

「鉄腕アトム」(1963/24分) 「鉄腕アトム」(1980/24分)

「ASTROBOY 鉄腕アトム」(2005/24分)

日時：8月24日(日)10:30～/14:00～ 定員：150名(先着順)

「ジャングル大帝」(1989/24分) 「手塚治虫が消えた?! 20世紀最後の怪事件」(2000/41分)

日時：8月31日(日)10:30～/14:00～ 定員：150名 (先着順)

「ブラック・ジャック Karte:00 オペの順番/Karte:44 ピノコ誕生」
(2004/各25分)

日時：9月7日(日)10:30～/14:00～ 定員：150名 (先着順)

「火の鳥 未来編 その一」(2004/28分) 「火の鳥 未来編 その二」
(2004/28分)

日時：9月14日(日)10:30～/14:00～定員：150名 (先着順)

定員：150名 (先着順)

東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受彰。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロココ・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになっています。



この件に関するお問い合わせ先
問い合わせ先：企画広報課 TEL 042-691-4511 FAX 042-691-4623
E-mail: toiawase@fujibi.or.jp